

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年6月4日  
北アルプス地域振興局

提出区分		実績		
整理番号		1	課題区分	
			C	
実施機関		北アルプス地域振興局		
事業名		北アルプス地域「農ある暮らし」推進事業		
		担当課	企画振興課	
		電話	0261-23-6501	
		E-mail	<a href="mailto:kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp">kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp</a>	
事業の概要	目的 (目指す姿)	「田舎暮らし」や、「農ある暮らし」への志向が高まる中、農に関心を持つ移住希望者等や定年帰農者等地域住民の「農ある暮らし」をサポートし、こうした取組を北アルプス地域の魅力として情報発信することで、移住者など地域に人を呼び込むことを目指す。 あわせて地域の人々の移住者等を受け入れるための意識醸成を図るとともに、農産物直売所の活性化や地消地産の推進を図る。		
	現状と課題	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少対策として各自治体で移住施策に取り組んでおり長野県として「移住したい県 1位」となっている。(NPO法人ふるさと回帰支援センターH31.2月)</li> <li>各自治体で移住セミナーや体験ツアー、移住者への補助制度等に取り組んでいる。</li> <li>農業者の減少や高齢化が進む中、都市からの移住者や定年後に農に携わる者など「農」に関わる人々が増えつつある。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長野県の中で移住者から「北アルプス地域」が選ばれるため、他地域との差別化や地域としての魅力向上を図ることが必要</li> <li>各自治体の移住施策の固定化し、新たな切り口での取組が必要</li> <li>「農」を求める人々を増やし、「農」に関わる人々を支援・サポートする仕組みの構築</li> </ul>		
概要	内容 (変更後の内容)	<p>○農ある暮らしサポート直売所設置事業</p> <p>JA大北農産物直売所「ええっこの里」を「農ある暮らしサポート直売所」とし、農ある暮らしを求める移住(希望)者や地域住民に対し、営農指導員等が「農ある暮らしサポートアドバイザー」として栽培技術等に関する相談やアドバイスをを行う。</p> <p>また、初心者向け野菜づくり研修会や農ある暮らしセミナーを開催。</p> <p>サポート直売所内に、北アルプス地域の移住・観光情報を提供するコーナーを設けて、地域の情報発信拠点としても活用する。</p> <p>なお、本事業は「長野県とJA長野県グループとの農村地域の暮らし支援に関する協定書(平成28年2月12日)」に基づく取組として、北アルプス地域振興局と大北農業協同組合で連携して実施する。</p>		
	事業期間	平成31年4月 ~ 令和2年3月		
成果目標 (成果指標)	栽培方法に関する年間サポート件数 60件 野菜づくり研修会 のべ参加者数 20人			
事業費等	(単位:円)			
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考
	北アルプス地域農ある暮らしサポート直売所設置事業	北アルプス地域農ある暮らしサポート直売所設置	246,096	業務委託費、広報用ポスター作成費、野菜づくり研修会等開催経費
	合計		246,096	
事業実績・成果	事業実績		事業の成果	評価
	R2.3.31までに以下のとおり実施した。 ・サポート直売所開設(H31.4.1) ・サポート直売所県周知用ポスター 100枚 ・サポート直売所への相談件数 29件 ・野菜づくり研修会の開催 2回のべ11名 ・JA大北が準備した木製パンフレットラック3台への移住・観光パンフレット等の配架		<p>○県外客の多い大型連休等で移住・観光パンフレットの配布量増加。県外へのアピールにつながった。</p> <p>○野菜作り研修会のアンケートでは、継続希望が多くあり、好評だった。</p> <p>○サポート直売所の本格稼働したことにより本事業の充実に向けて検討する材料を手に入れることができた。</p>	<p>○ 期待以上</p> <p>● 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>
今後の方向性	相談件数の増加に向け、必要な広報や環境整備等に努めていくとともに、サポート直売所でのサポート体制の見直しや野菜作り研修会等の効果的な発信方法について検討を行う。			